

## ◇指導のねらい

- ・実物と写真のマッチングをねらいとした児童を対象にして作成した。

## ◇基本の使い方

- ①ままごとの道具、ミニカー、キャラクター人形で少し遊び、使い方や遊び方をどのくらい理解しているのか確認する。
- ②児童の前に写真カードを並べる。
- ③写真カードの上に実物を置く。

## ◇指導の評価

ままごとの道具はお皿の上にフォークやスプーンを置いたり、フォークを使って食べる真似をしたりしていた。ミニカーは向かい合わせにして走らせて遊んだ。人形は立てていた。このようなことから、使い方や遊び方は理解していると思われる。

写真カードは「～を取って。」と指示を出してもまだ取ることは難しい段階である。

実物を同じ写真カードの上に置く学習は始めたばかりだが、写真カードの上に置くということは理解し始めている。まだ、一番近い写真カードの上に置こうとする事が多いので、繰り返し学習を続けていきたい。そして、写真カードを見ることで何を指示されているのかが分かるようになったり、写真カードを使って自分の要求を伝えたりできるようになってほしいと考えている。

